

日本保健物理学会「教員等協議会・若手・学生」合同会議（第22回）

日時：2022年7月12日（火）9時～10時

参加者：（教員等協議会）飯本（理事）

（若手研）迫田（理事）、渡邊（主査）、五十嵐（幹事）、松本（参与）、
辻、中畷

（学友会）小池（会長）、橋本（会計）

概要：

① 今年度の若手研幹事団について

主査：渡邊 裕貴氏（日本原子力研究開発機構）

幹事：五十嵐 悠氏（日本原子力研究開発機構）

参与：松本 真之介氏（東京都立大学）

② 議事録の公開について

- ・ 議事録作成後、メールにて参加者全員で確認。次回の会議冒頭に参加者全員で振り返りも兼ねて再度見直し、公開する
- ・ 学会ホームページへのアップロードについては、毎回コミュニケーション委員会に依頼するのか、アップロードの権限を委譲してもらえるのか、担当理事に確認する

③ 若手研ロードマップの共有について

これまでの振り返り

- ・ 企画シンポジウム 若手研セッション
次期主勧告のより深い理解のための勉強会:「環境に対する放射線防護」の現状
- ・ オンライン勉強会（テーマ：ICRP OIL シリーズ内部被ばく）
- ・ 千葉市科学フェスタ
- ・ Twitter の運用の開始

今年度の予定

- ・ 2022年8～11月 IRPA YGN コンテスト
協力者を募集中
- ・ 2022年11月 JRSM・JHPS 合同大会
4月に実施した次期主勧告に関するアンケート結果を踏まえて、次回勉強会（講演会）のテーマを「最適化」とする予定。現在、講師を検討中
- ・ 2023年2月～ 来年度シンポジウムでの勉強会準備の開始
ICRP 次期新勧告を軸に勉強会テーマを考えていく

- ・ 海外活動（AOCRP-6、KARP-JHPS-CSRP 合同ワークショップ）：若手研から各 1～2 名の派遣を予定
- ・ SNS（Twitter、Facebook）：継続的に運用を続ける
- ・ 若手・学生勉強会
ICRP 次期新勧告に興味を持ってもらうことを目的に勉強会テーマを考えていく
 - 本会議では議論が盛り上がっているが、勉強会参加者との温度差が大きくなるように留意すべき。これまでのまとめのような会を開催するのも良いのでは。

④ 学友会について

- ・ 11 月の合同大会前に会員が増える可能性が高い
- ・ 最新の名簿を入手し、新たな学生を直接勧誘するのみならず、教員等協議会の支援を受けて学生の多い研究室の先生方に協力してもらう必要がある
- ・ 若手研と学友会の連絡チャンネルは今のところ無く、メールベースになっている。今後、合同勉強会の開催を想定すると、本会議以外で情報交換する場を定期的に設ける必要がある

⑤ ICRP2023 について

- ・ 日時：2023 年 11 月 6～9 日 グランドニッコー東京台場
- ・ 日本保健物理学会や日本放射線影響学会の研究発表会の研究発表会の会期と期間を重複させる計画がある
- ・ 主催者側より、日本保健物理学会へ特別企画の開催の打診があった。若手研が中心となり企画を提案できる可能性がある。なんらかの企画を実施するにしても、本会場か日本保健物理学会の研究発表会会場で行うかの検討が必要

○次回の開催予定

日本保健物理学会「教員等協議会・若手・学生」合同会議（第 23 回）

2022 年 8 月 17 日(水)9 時-10 時